

駅前広場のイベントを考えよう！

年末に駅前の広場に賑わいを創りたい。ということで駅前再生協議会のみなさんと、イベントを考えるワークショップをしました。

身近でできることから始めればいいと分かったと、とても活発なアイデアができました。

☆ワークショップの前に

このワークショップを始める前々年には、ワーキンググループの若手メンバーで駅前広場の使い方や整備のイメージなどを提案していました。（前年度はコロナ禍のため、お休みしていました）ワーキンググループのみなさんは、何年も前から毎年、冬に駅前でイルミネーションを設置していらっしゃいます。寒い夜にとっても映え、子どもも楽しめるデザインです。

☆ワークショップの目的は

駅前の整備を訴えるためには、賑わいが創出できる空間なのだとすることを積み重ねていくことが求められます。そこで、ワークショップを行い、イベントを企画、開催していこうとなりました。



☆当日のワークショップでは

コロナ禍のため、テーブルを囲むワークショップ形式は避けることになり、ロの字型で行いました。

事前に説明があり、イベントの例示もあったのですが、「イベントについての意見を」と求められても、少しわだかまりもあったようで、はじめは活発な意見交換とはなりませんでした。

ところが、身近にある事例をその場でお伝えしたところ、自発的に隣同士でお話が始まりました。

そこで、進行を、バズ（少人数で短時間話す）に変更し、その後で話し合った内容などを発言していただくということに変更しました。

バズの時間を5分としたのですが、延長するほど、活発に話し合っていました。もちろん、発表も実現可能性が高く、楽しそうなアイデアが出ました。



*バズは、本来小鳥のさえずりの意味です。小鳥がさえずるように少人数で短時間おしゃべりします。大人数で話すとき、話のきっかけがつかめなときなどに活用します。

参加されたみなさんは、いきなり話すことに躊躇されていたんだなと分かりました。バズのを改めて見直したワークショップでした。